

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	プロジェクト演習 I	(NGB14M)	
講義名 (コード)	プロジェクト演習 IA	(NGB14MA)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	1
授業担当者	堀内 美穂	時間数	30
成績評価教員	堀内 美穂	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	①プロジェクト学習を通して、課題解決の流れを理解し解決案を導けるようにする ②自分プロジェクトをアウトプットする
全体の内容と概要	人生やビジネスにおける課題発見と課題解決するための方法を学ぶ
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	テーマを検討し、設定できる	プロジェクト演習の進め方 テーマ設定、スケジュール作成
2	当初案をまとめ、プレゼンできる	プロジェクトのテーマプレゼン
3	プロジェクト実行、個別テーマの調査研究ができる	プロジェクト 作業
4	プロジェクト実行、個別テーマの調査研究ができる	プロジェクト 作業
5	プロジェクト実行、個別テーマの調査研究ができる	プロジェクト 作業
6	プロジェクト実行、個別テーマの調査研究ができる	プロジェクト 作業
7	活動内容をプレゼンできる	プロジェクト 中間プレゼン
8	プロジェクト実行、個別テーマの調査研究ができる	プロジェクト 作業
9	プロジェクト実行、個別テーマの調査研究ができる	プロジェクト 作業
10	プロジェクト実行、個別テーマの調査研究ができる	プロジェクト 作業
11	プロジェクト実行、個別テーマの調査研究ができる	プロジェクト 作業
12	プロジェクト実行、個別テーマの調査研究ができる	プロジェクト 作業
13	プロジェクト実行、個別テーマの調査研究ができる	プロジェクト 作業
14	活動内容をプレゼンできる	プロジェクト 中間プレゼン
15	活動内容をプレゼンできる	プロジェクト 中間プレゼン

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	WebデザインⅢ	(NGM22A)
講義名 (コード)	WebデザインⅢ	(NGM22AX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数 1
授業担当者	小笠原 あやの	時間数 30
成績評価教員	小笠原 あやの	講義期間 春学期
実務者教員	はい	履修区分 必修
実務者教員特記欄	空気猫デザイン研究所 代表	授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	Illustrator、Photoshopを応用し、マーケティングに必要なクリエイティブな表現の幅を広げる。
全体の内容と概要	商品のパッケージやチラシなど、実際に入稿する前提でのデータの作り方を身につける。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	制作実例の紹介、授業の進め方とデザインの基本的な説明
2	基本的な要素を組み合わせることができる	ソフトの操作に慣れながら、自己紹介のPOPを作ろう
3	実際の商品としてのパッケージデザインの基礎を学ぶことができる	ペットボトルのパッケージデザイン①
4	実際の商品としてのパッケージデザインの基礎を学ぶことができる	ペットボトルのパッケージデザイン②
5	実際の商品としてのパッケージデザインの基礎を学ぶことができる	ペットボトルのパッケージデザイン③ 発表
6	チーム内で意見を出し合いながら協力することができる	《グループワーク》 体育祭のポスター作り
7	チーム内で意見を出し合いながら協力することができる	《グループワーク》 体育祭のポスター作り、発表
8	著作権の意味と内容、余白の大切さについて理解することができる	著作権について理解しよう・自分の手をデッサンする
9	自分のイメージを象徴化し、他人に「伝える」デザインにすることができる。□	自分自身のシンボルマーク（ロゴマーク）を作ろう①
10	自分のイメージを象徴化し、他人に「伝える」デザインにすることができる。□	自分自身のシンボルマーク（ロゴマーク）を作ろう② 発表
11	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	自分のお店の広告制作①
12	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	自分のお店の広告制作②
13	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	自分のお店の広告制作③ 発表
14	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	テスト 自分のお店のショップカードを作ろう①
15	フィードバック	テスト 自分のお店のショップカードを作ろう② 発表

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Webマーケティング実践 I	(NGM22C)
講義名 (コード)	Webマーケティング実践 I	(NGM22CX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数 1
授業担当者	横内 和加	時間数 30
成績評価教員	横内 和加	講義期間 春学期
実務者教員	はい	履修区分 必修
実務者教員特記欄	個人事業 AERU PLUS 代表	授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	マーケティングの基礎概念を理解し、Canvaを用いてターゲットに刺さるSNS投稿・広告・販促物等を、一貫性のあるデザインで作成できる。
全体の内容と概要	認知から成約までを繋ぐ「Web上の導線設計」を体系的に学び、ビジネス現場で即戦力となる一気通貫の設計・制作スキルを習得します。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	講義の進め方Canvaの基本操作（ログイン、写真の配置、文字入力）を体験。
2	Canvaによる自己紹介ページ制作	自分の特長や強みを視覚化し、自己紹介シートを作成する。
3	Canvaの基本操作(1)	テンプレートの選び方、基本ツールの使い方等
4	Canvaの基本操作(2)	写真の加工、背景削除、図形の活用。
5	Web上の導線設計（全体像）を学ぶ	集客から成約までの「地図」を描く。SNS・広告・HP・チラシがそれぞれのフェーズで機能するか、全体の流れ（カスタマージャーニー）を理解する。
6	SNS投稿のデザイン(1)	Instagram投稿・ストーリー作成。スマホで「目が止まる」フックの作り方。
7	SNS投稿のデザイン(2)	複数枚投稿のストーリーテリング。保存される「役に立つ」コンテンツ制作。
8	Web広告の仕組みと配信設計	広告のアルゴリズムとターゲティングの仕組みを理解し、目的に応じた「配信設計（誰に・どこで）」を立案できる。
9	公式LINEとリッチメニュー	Canvaでのリッチメニュー制作と設置イメージ。
10	リアル媒体からWebへの誘導	ポスター制作。紙面での視線誘導とキャッチコピー、QRコードの効果的な配置。
11	集客戦略の立案（コンセプトワーク）	決めたテーマに対し、「誰に・どの媒体で・どうやって」集客するか、導線設計図を完成させる。必要な制作物（SNS広告、チラシ、バナー等）のリストアップ。
12	制作(1)：集客パーツの制作	導線の入り口となる制作物の作成。SNS投稿用クリエイティブ、WEB広告バナー、QRコード付きポスターなど、Canvaを用いて一貫通貫のデザインを行う。
13	制作(2)：成約パーツの制作	集客した後に見せる詳細情報（公式LINEリッチメニューやチラシの裏面など）の制作。
14	最終ブラッシュアップと発表準備	全ての制作物を並べ、導線がスムーズに繋がっているかセルフチェック。プレゼン資料の作成（ターゲット、狙い、期待する効果の言語化）。
15	試験・成果発表	全制作物を発表。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	コンテンツコミュニケーション I	(NGM22E)
講義名 (コード)	コンテンツコミュニケーション I	(NGM22EX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数 2
授業担当者	デザインルームエム水寄	時間数 30
成績評価教員	デザインルームエム水寄	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	SNSマーケティングの基礎と実践を行い、作業フローの確立と効率を高めることを目指します
全体の内容と概要	個人とビジネスでのSNSの役割の違いから、運用戦略の立案、実際の取材・投稿作成・投稿を行う つつ、SNSマーケティングでの基礎を学びます
授業時間外の学修	取材・投稿作成等が授業時間内で完了しなかった場合や推奨投稿時間の指定がある場合、授業時間 外での作業を行っていただく場合があります
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	授業内容を理解し取材・投稿内容が作成できているか。また、指定した期日までに定めたコンテ ンツ作成を完了できるか。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標 をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足 しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	個人とビジネスでのSNSの役割の違いがわかる	本授業で行っていくことの全体像と目指すものを確認。個人使用のSNSの用途と、ビジネス上での用途の比較を行う。
2	SNSにおいて目的・ターゲット・コンセプトの重要性がわかる	SNSアカウントにおいて、目的・ターゲット・コンセプトの必要性を確認し、現在使用しているアカウントの各項目を明確にする。
3	SNSプロフィールの役割と目的別の構成の仕方がわかる	設定したコンセプトに沿ったプロフィール画面の構成を考える。目的別に推奨されるプロフィール構成が変わることを確認する。
4	テキスト情報の役割と使い方がわかる	テキスト情報の役割と効果的な使い方をプラットフォーム別に確認し、それを踏まえた投稿を実際に作成する。
5	SNSのアルゴリズムと閲覧者が気になる構成がわかる	SNSでも最も重要な項目の一つであるアルゴリズムについてと、閲覧者が思わず注目してしまう投稿の特徴について学び、実践する。
6	地域と連携したSNS投稿の計画の立て方がわかる	地域連携SNS事業を題材にし、改めて目的・ターゲット・コンセプトを検討する。また、それを踏まえた投稿計画を立てる。
7	計画に沿った取材の方法がわかる	コンセプトに沿った投稿計画を踏まえ、完成イメージから逆算した取材を計画通りに行う。また、取材時のマナーなども実践する。
8	計画に沿ったコンテンツの作成方法がわかる	取材で集めた素材を使って、計画通りの投稿を作成できるかを作業しながら検討する。また、魅力的な説明文の書き方を学ぶ。
9	SNS上で計測できる数字の概要がわかる	フォロワー数を増やすために計測が必要な数字について学ぶ。また、フォローしたくなるアカウントの共通点や構成などを考える。
10	改善点を見据えた投稿を前提にした取材の方法がわかる	改善点を確認した上で投稿計画を作成し、計画から逆算した素材を事前に想定した上で取材を行う。
11	エンゲージメントと双方向性の重要性がわかる	フォロワー数よりも重要となるエンゲージメントと、エンゲージメント率を高めるための双方向性について学ぶ。
12	短尺縦長動画の流行とその理由について学ぶ	短尺縦長動画の流行の理由と各プラットフォームでの機能の違いを学ぶ。その上で、動画での投稿計画を立て、取材を行う。
13	短尺縦長動画の制作方法と構成がわかる	取材した素材を使って投稿を作成する。またその際、注目されやすい動画構成やレイアウトについて学ぶ。
14	まとめ	SNSに関する用語の確認と、良質なアカウントを発見し客観的分析を行う。また、その内容をプレゼンテーションにまとめる。
15	まとめ	作成したプレゼンテーションを発表し、評価とする。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	ビジネスYouTube 3.0 中小企業のための信頼構築型動画戦略（セルバ出版） SNSマーケティング図鑑（インプレス）
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	グラフィックデザイン応用 I		(NGM22G)
講義名 (コード)	グラフィックデザイン応用 I		(NGM22GX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	小笠原 あやの	時間数	30
成績評価教員	小笠原 あやの	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	空気猫デザイン研究所 代表	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	Illustrator、Photoshopを応用し、マーケティングに必要なクリエイティブな表現の幅を広げる。
全体の内容と概要	商品のパッケージやチラシなど、実際に入稿する前提でのデータの作り方を身につける。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画	

回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	制作実例の紹介、授業の進め方とデザインの基本的な説明
2	基本的な要素を組み合わせることができる	ソフトの操作に慣れながら、自己紹介のPOPを作ろう
3	実際の商品としてのパッケージデザインの基礎を学ぶことができる	ペットボトルのパッケージデザイン①
4	実際の商品としてのパッケージデザインの基礎を学ぶことができる	ペットボトルのパッケージデザイン②
5	実際の商品としてのパッケージデザインの基礎を学ぶことができる	ペットボトルのパッケージデザイン③ 発表
6	チーム内で意見を出し合いながら協力することができる	《グループワーク》 体育祭のポスター作り
7	チーム内で意見を出し合いながら協力することができる	《グループワーク》 体育祭のポスター作り、発表
8	著作権の意味と内容、余白の大切さについて理解することができる	著作権について理解しよう・自分の手をデッサンする
9	自分のイメージを象徴化し、他人に「伝える」デザインにすることができる。□	自分自身のシンボルマーク（ロゴマーク）を作ろう①
10	自分のイメージを象徴化し、他人に「伝える」デザインにすることができる。□	自分自身のシンボルマーク（ロゴマーク）を作ろう② 発表
11	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	自分のお店の広告制作①
12	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	自分のお店の広告制作②
13	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	自分のお店の広告制作③ 発表
14	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	テスト 自分のお店のショップカードを作ろう①
15	フィードバック	テスト 自分のお店のショップカードを作ろう② 発表

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	UX・UIデザイン I		(NGM22I)
講義名 (コード)	UX・UIデザイン I		(NGM22IX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	デザインルームエム 清水	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム 清水	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	UX,UIの概念と必要性を理解する
全体の内容と概要	動画制作を通じて、UXをディレクションし、UIとしてアウトプットをする
授業時間外の学修	平日や休日を利用して素材を収集 (スマホでok)
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

回	到達目標	授業内容
1	UX,UI概論を知る	UX概論、マインドマップで様々な角度から思考をめぐらせ整理する
2	UX,UI事例を知る	UX,UI事例、手書きパース手法→考えをチームで共有する手段
3	UX,UI事例を考えられる人になる	UX,UI事例、手書きパース手法→コンテ画など、ストーリーを考え描く
4	UX,UIデザインの役割を知る	構想ディレクター～ビジュアルデザイナーの役割
5	Premiere-Pro基本操作を学ぶ	Premiere-proの基本操作を得る
6	映像の常識を知る	解像度、フレームレート、色ビット数、シャッター速度と表現
7	トランジションの考え方を学ぶ	画面切り替えのタイミング、自然でかつ意味が存在するトランジション
8	色補正、エフェクトの理解	光と影、大陽と照明機器 表現のためのエフェクトを理解する
9	機材の違いを知る	ハンディー、一眼カメラ、アクション系、ドローン、360 スタンドの違い
10	画角とフォーカスを学ぶ	寄り、ミッド、引き、フォーカス移動 それらの視覚効果
11	動画コンテストに出品する	街や地域の「魅力的体験」を視覚的に伝える ストーリーを計画
12	ロケハンの意味を知る	ロケハンの目的、方法、許可取り、肖像権著作権等法律法令を理解する
13	動画編集の基礎を覚える	集めた素材を編集する
14	動画編集の応用を覚える	集めた素材を編集する
15	作品動画発表会	応募前作品を発表し、ブラッシュアップの意見を求め仕上げる

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	個人の作例、youtube動画
備考	授業の時間の進行状況によりますが、ドローン撮影の時間を行う予定

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	グーグルアナリティクス概論 I	(NGM22L)	
講義名 (コード)	グーグルアナリティクス概論 I	(NGM22LX)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	デザインルームエム吉田	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム吉田	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	(有)デザインルームエム所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	アクセスログをベースとしたWEBマーケティング思考を身につけること
全体の内容と概要	WEBおよびSNSのアクセス解析ツールを使って実習形式で演習をおこなう
授業時間外の学修	とくになし
履修上の注意事項等	PCスキルが必要。この事業は常にPCで実践する

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	アクセス解析の習熟度をテストとレポートで評価する		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	授業内容を把握し各自の目標を定める	この授業の目的と大まかな考え方の説明、生徒に対して学びたいと思うことをヒアリング
2	解析ツールの適所適材を知る	アクセス解析ツール①：ユーザーに焦点を当てる
3	解析ツールの適所適材を知る	アクセス解析ツール②：他社と検索動向を知る
4	専門用語を理解する	ログ解析の専門用語①：トラフィックの理解
5	専門用語を理解する	ログ解析の専門用語②：流入経路とユーザーの関心
6	専門用語を理解する	ログ解析の専門用語③：環境と行動の評価
7	SNSのアクセス解析を理解する	SNSインサイト解析①：Instagramの特性
8	SNSのアクセス解析を理解する	SNSインサイト解析②：オーディエンス分析
9	SNSのアクセス解析を理解する	SNSインサイト解析③：Meta Business Suiteの活用
10	解析の目的と目標設定を理解する	解析の流れ①：調査ストーリーと全体像の把握
11	解析の目的と目標設定を理解する	解析の流れ②：特異点の発見と流入元の調査
12	前期で学んだことを再確認する	前期総復習：各種ツールと専門用語、SNS解析の振り返り
13	テスト前の重点科目の見直しをする	前期総復習とテスト対策 (実践的なデータ読み取り)
14		テスト
15		テスト振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	WEBで公開されているアナリティクスのヘルプコンテンツなど
参考文献・資料等	講師の実際の業務の中で守秘義務に触れない範囲のものを適時提供
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	SEO	(NGM22M)
講義名 (コード)	SEO	(NGM22MX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数 2
授業担当者	竹下 芽衣子	時間数 30
成績評価教員	竹下 芽衣子	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	検索エンジンの仕組みや最適化手法を理解して、実践的にWebサイトの集客を改善できるスキルを身につける。到達目標は、基本的な最新のキーワード選定、サイト分析、改善、立案ができる
全体の内容と概要	授業では、検索エンジンの仕組み、キーワード選定、メタタグ、コンテンツの最適化、モバイル対応など、基本的な理論と実践的な手法を学びます。自らのWebサイトを分析・改善し、検索順位を向上させるためのスキルを学びます。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	学生が安心して授業を進めるための雰囲気づくり	オリエンテーション、自己紹介、異文化交流、授業の流れとルールの説明
2	SEO基本知識の習得	SEOの基礎と重要性
3	検索エンジンの基本基本の習得	検索エンジンの仕組み
4	キーワード選定の基本の習得	キーワード選定の基本
5	競合分析、AI利用の基本の習得	競合分析、AIを使ったSEO対策
6	コンテンツ最適化の習得	コンテンツの最適化、アルゴリズムアップデートへの対応
7	メタタグの基本習得	メタタグと構造化データ
8	モバイルSEOの習得	モバイルSEO
9	SEOツールの習得	SEOツールの使い方
10	データ分析の基本習得	データ分析と改善策
11	様々なSEO対策への基本習得	ローカルSEO、国際SEO
12	マーケティングを含めた基礎知識の習得	SEOとコンテンツマーケティングの連携
13	基本の操作の習得	実習、サイト作成
14	改善への基礎習得	発表と改善などのディスカッション
15	改善への基礎習得	発表と改善などのディスカッション

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	e-コマース I	(NGM220)	
講義名 (コード)	e-コマース I	(NGM220X)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	デザインルームエム吉田	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム吉田	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	ECサイトを使ってモノやサービスを提供するためのマーケティング施策の理解を深める
全体的内容と概要	前期は座学、後期は実際にECサイトを開設運用する
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	PC必須

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	前期はテストによる理解度の評価		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	ECサイトのデメリット、メリットの理解	eコマースの基本概念と実店舗との比較
2	ECサイトに必要なことを理解する	ECを始めるための基礎
3	ECプラットフォームの種類を理解する	ECプラットフォームの理解
4	ECサイトとSNS連携を理解する	ECサイトの導線設計①：リアル店舗との関係性
5	ECサイトの導線設計を理解する	ECサイトの導線設計②：SNSとの連携
6	SEO、MEO、AIOについて理解する	ECサイトの導線設計③：SEO・MEO・AIOとは？
7	AIOをAIで実践することを理解する	ECサイトの導線設計④：AIOを考える
8	ECにおけるカスタマージャーニーについて理解する	カスタマージャーニーの基礎
9	カスタマージャーニーを描けるようになる	カスタマージャーニーのマッピング
10	ECサイトの企画を考える	実習としてのECサイトで何をやるかの企画会議 (グループワーク)
11	ECサイトの企画書をまとめる	実習としてのECサイトで何をやるかの企画会議 (グループワーク)
12	ECサイトの企画を発表する	ECサイトの企画発表
13		前期テスト対策
14		前期期末テスト
15		テスト返却・解説、前期の振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	とくになし
参考文献・資料等	実際のECサイトをAIで分析させておこなう
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名(コード)	クリエイティブデザイン I	(NGM22Q)	
講義名(コード)	クリエイティブデザイン I	(NGM22QX)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	横内 和加	時間数	30
成績評価教員	横内 和加	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	デザインを単なる装飾ではなく「課題解決の手段」と定義し、現場や実社会で機能するクリエイティブを構築するスキルを習得する。情報の取捨選択と戦略的な視覚演出を学び、対象の魅力を最大化して他者に届ける力を身につける。		
全体の内容と概要	実在する地域プロジェクトや地域課題を題材に、制作を通じて「課題解決のデザイン」を実践します。前半は共通のモデルケース、後半は自選テーマに取り組み、思考の言語化から制作・発表までの一連のプロセスを体験します。		
授業時間外の学修			
履修上の注意事項等	なし		

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理能力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	自己紹介。授業の全体像の共有。
2	【前半課題】を理解する	地域プロジェクトの提示：課題の背景を共有。解決すべき「ゴール」を定義。
3	制作準備	情報の優先順位を整理する。導線や骨組みの構築。
4	制作	Canvaを使って、ビジュアル制作
5	制作	ブラッシュアップ：細部の追い込みと、伝わりやすさの最終点検。
6	発表	制作物の披露。公開添削。
7	【後半課題】のテーマ設定とリサーチ	自分で題材を選ぶ。課題の発見と言語化。
8	プロジェクト立案	コンセプト構築：誰に・何を・どう届けるか。解決のシナリオを練る。
9	制作①	テーマに基づいたビジュアル制作の開始。
10	制作②	〃
11	制作③	〃
12	プレゼン構築	制作物の意図や想いを説明するためのプレゼンテーションの作成。
13	プレゼン構築	〃
14	最終調整	作品の最終仕上げと、聴衆に届けるプレゼンの練習。
15	発表	プレゼンテーションの披露、フィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	IT検定対策Ⅲ	(NGM22S)	
講義名 (コード)	IT検定対策Ⅲ	(NGM22SX)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	デザインルームエム小松	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム小松	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	企業活動や経営戦略の基礎を学び、実務に生かすことを目指す。 本授業終了により、ITパスポート試験受験の準備を完了する。
全体の内容と概要	企業活動や経営戦略に関する基礎的な知識について習得する。 企業活動や経営戦略に関するホットな話題について取り上げ、理解を深める。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	期末テストを実施し、その点数を評価基準に用いる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	会社の財務に関する基礎知識を理解する。	損益分岐点、貸借対照表、損益計算書などについて説明する。
2	会社の組織と責任について理解する。	会社の成り立ちやコーポレートガバナンス、コンプライアンスについて説明する。
3	社員の育成およびデータサイエンスについて理解する。	社員の育て方、請負や派遣、データサイエンスについて説明する。
4	AIの歴史およびメカニズムについて理解する。	人間中心のAI社会原則、機械学習、ディープラーニングについて説明する。
5	関連法規について理解する。	知的財産権、個人情報保護、セキュリティ法規などについて説明する。
6	企業活動に関する理解力をつける。	企業活動に関する過去問の演習を行う。
7	会社の現状を分析する手法について理解する。	SWOT分析、PPM、バランススコアカードなどについて説明する。
8	会社の経営戦略について理解する。	自社の強みを生かし、弱みを補完する戦略や商品戦略などについて説明する。
9	マーケティングや営業戦略について理解する。	マーケティング理論、新しいマーケティングの考え方やデザイン思考について説明する。
10	社会を支えるITシステム、IOTやDXについて理解する。	社会を支えるシステム、IOTやDX(デジタルトランスフォーメーション)について説明する。
11	企業が業務に使うシステムについて理解する。	電子商取引やシステム開発の動向について説明する。
12	経営戦略に関する理解力をつける。	経営戦略に関する過去問の演習を行う。
13	企業活動・経営戦略に関する理解力をつける。	前期講義内容について、弱点強化のための集中講義を行う。
14	期末テスト	期末テストの実施
15	期末テストのフィードバック	期末テストの問題について、解答を解説する。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ITパスポート合格読本
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	ビジネス英語Ⅲ		(NKT24U)
講義名 (コード)	ビジネス英語ⅢB		(NKT24UB)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	Webマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	BRADT MARK JEFFREY	時間数	30
成績評価教員	BRADT MARK JEFFREY	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	To increase proficiency with English in professional settings.
全体の内容と概要	Textbook work, roleplay, presentations.
授業時間外の学修	Presentation preparation, vocabulary review.
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画	

回	到達目標	授業内容
1	Can introduce oneself in a business context.	Course introduction. Unit 1: Meeting people (introductions, small talk, first meetings).
2	Can communicate on the phone.	Unit 2: Telephoning (making calls, taking messages, voicemail).
3	Can discuss schedules and appointments.	Unit 3: Schedules and appointments (meetings, planning, availability).
4	Can describe company performance.	Unit 4: Company performance (figures, graphs, trends).
5	Can talk about products and services.	Unit 5: Product features, describing services, asking questions.
6	Can explain decisions and reasons.	Unit 6: Business decisions (cause/effect, explaining choices).
7	Can handle complaints professionally.	Unit 7: Complaints and problems (apologizing, solutions).
8	Can give updates and report progress.	Unit 8: Checking progress (updates, travel arrangements).
9	Can talk about future plans and trends.	Unit 9: Future prospects (forecasting, predictions).
10	Can give advice and explain rules.	Unit 10: Regulations and advice (obligations, suggestions).
11	Can participate in meetings.	Unit 11: Meetings and discussions (giving opinions, agreeing/disagreeing).
12	Can give structured presentations.	Unit 12: Speaking in public (presentation structure, signposting).
13	Can prepare a business presentation.	Presentation preparation: topic selection, outline, slide structure, practice.
14	Can deliver a business presentation.	Student presentations (Part 1) + peer feedback.
15	Can reflect and improve communication skills.	Student presentations (Part 2) + feedback and course review.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Business Venture 2
参考文献・資料等	Worksheets, Roleplay scenarios cards references
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	ビジネス翻訳 I		(NKT25A)
講義名 (コード)	ビジネス翻訳 I B		(NKT25AB)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	Webマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	BRADT MARK JEFFREY	時間数	30
成績評価教員	BRADT MARK JEFFREY	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	To improve business English comprehension with a focus on gaining translation experience.
全体の内容と概要	Textbook work, translating written/audio and video files, group and one on one conversations activities.
授業時間外の学修	Translation homework, vocabulary and style review.
履修上の注意事項等	We will discuss rules regarding AI in class.

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画	

回	到達目標	授業内容
1	Can understand the basic fundamentals of translation.	Course intro. Unit 1: Introducing yourself + basic translation (JP→EN self-introductions).
2	Can introduce a company.	Unit 2: Introducing companies + translation of company profiles.
3	Can explain job roles.	Unit 3: Explaining your role + translation (job descriptions).
4	Can describe products.	Unit 4: Introducing products + translation (product descriptions).
5	Can confirm and check information.	Units 5-6: Checking information & giving opinions + translation drills (short business emails).
6	Can make polite requests.	Units 7-8: Requests & permission + translation (formal vs. informal tone).
7	Can invite and arrange meetings.	Units 9-10: Invitations & appointments + translation (scheduling messages).
8	Can handle schedule changes.	Units 11-12: Canceling, rescheduling & describing locations + translation (directions, changes).
9	Can assist visitors professionally.	Units 13-14: Visitors & phone calls + translation (reception / phone scripts).
10	Can take and leave messages.	Review of Units 1-15 + guided translation (phrases → sentences → short texts).
11	Can translate short functional texts.	Translation practice: emails, notices, simple documents (JP↔EN).
12	Can translate short business texts.	Translation focus: emails, notices, simple documents (JP→EN / EN→JP).
13	Can understand differences in nuance.	Translation practice: improving accuracy and natural phrasing (avoid literal translation).
14	Can translate for subtitles.	Subtitling basics: short sentences, timing, readability (映画・YouTube clips).
15	Final Test	Final Test - Feedback - Q & A

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Go Global: English for Global Business
参考文献・資料等	Video & audio files, AI speaking partner, and misc references
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネスコンピューティングⅢ		(NKT25E)
講義名 (コード)	ビジネスコンピューティングⅢA		(NKT25EA)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース/WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	東京コンピューター (株)、東京精電 (株) 歴任	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	1年次に習得したExcelの基礎を発展させ、より高度なデータ処理・分析・資料作成能力を身につける。 実務的な課題に対して自ら必要な機能を選択し、効率的かつ正確に業務を遂行できる力をつける。
全体の内容と概要	1年次で学んだ内容を発展させて、それぞれのレベルに合わせた検定対策に取り組む。 実務スキルの習得と検定対策を効率よく進めるために前半と後半に分けて授業を行う。
授業時間外の学修	検定試験対策の問題練習などを、授業時間外にも復習してください。
履修上の注意事項等	検定試験はいつでも受験できます。受験日を意識して計画的に学習してください。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画			
回	到達目標	授業内容	
1	自動計算できる集計表を自分で考えて作成できる	1年次に習得した関数をつかって身近なデータで集計表を作成する 出席率計算シート	
2	テーブル機能を使い、データを管理、視覚的に把握できる	条件付き書式の設定 テーブルの作成と機能の利用方法 並べ替えの設定方法・フィルターの設定と抽出	
3	データをまとめ視覚的にわかりやすい報告資料を作成できる	ピボットテーブルの作成・データの集計の変更方法	
4	MOS検定の内容と試験の流れを模擬問題を通して理解できる	MOS模擬試験プログラム紹介 (Excel Expert・Word Expert、PowerPoint)	
5	目的と表現の違いを理解し適切に作成できる	前半 Word 社内文書と社外文書のちがい	後半 検定対策 模擬試験プログラムを活用し学習 自分のレベルに合わせて選択する 【MOS Excel Expert または 日商PC3級・2級】 ブック管理から高度な数式・グラフ・ テーブル作成、データ表示形式や レイアウト設定までを総合的に学習する 【MOS Word Expert または 日商PC3級・2級】 文書管理から文字・段落・セクションの 編集、表やリストの扱い、参考資料や グラフィック要素の作成、共同作業の 管理までを総合的に学習する 【MOS PowerPoint または 日商PC3級・2級】 プレゼンテーションとスライドの管理、 画像・図形の編集、表やグラフなど 多様な要素の挿入、アニメーション設定 までを総合的に学習する
6	自ら判断し最適で、読みやすい文書を短時間で作成できる	構成要素を並べかえて文書作成 メモ書きから文書作成	
7	データを視覚化して要点を明確化効果的な文書を作成できる	グラフを挿入・編集した文書作成	
8	生成AIで発表テーマに基づく基本構成を作成できる	生成AIでプレゼンテーション作成① 発表テーマから プレゼンテーション生成	
9	図解や内容を充実させ、資料としての完成度を高める	生成AIでプレゼンテーション作成② 図解案を生成し全体を ブラッシュアップする	
10	スライドを校正してデザインと流れを整えて仕上げられる	生成AIでプレゼンテーション作成③ スライド全体を校正してデザイン調整や ストーリー改善を行って完成させる	
11	Wordと生成AIを効果的に活用して文書を作成できる	生成AIを利用した文書作成① 報告書を作成	
12	文書を推敲し要約や改善をして内容を整理できる	生成AIを利用した文書作成② 文書の 推敲や要約など作成後の改善や整理	
13	文書を仕上げ最終版を完成させることができる	生成AIを利用した文書作成③ 仕上げと完成版の作成	
14	まとめと解説	期末テスト	
15	まとめと解説	テストFB	

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	30時間でマスターOffice2021
参考文献・資料等	各問題集の練習問題、レベルに応じた資格試験の練習問題
備考	担当教員はIT業界での実務経験を活かし、Microsoft Office製品各種の操作を体系的に指導する

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	キャリアデザインⅢ	(NKT25G)	
講義名 (コード)	キャリアデザインⅢA	(NKT25GA)	
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース/観光ホスピタリティコース WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	石田 浩也	時間数	30
成績評価教員	石田 浩也	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。社会人として必要とされるマナーを習得する。⇒企業で活躍できる人間形成
全体の内容と概要	講義と演習により、就職内定へ向けて実践的なマナーやスキル、企業研究、職種研究、インターンシップの活用を通じてマッチング方法を習得する。
授業時間外の学修	インターンシップ、合同企業説明会&面接会参加 (WEB含む)
履修上の注意事項等	主体性をもって、授業に取り組む姿勢、就職に意欲的に取り組む姿勢。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	出席率70%以上の者を期末試験の受験対象者とし、授業への参加態度や学習意欲も評価の対象とする		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	授業内容の理解 進路手帳活用方法理解	【オリエンテーション】講師紹介・前期の内容について説明 【演習】進路手帳記入活用
2	就職情報の入手方法と活用について 理解する	【企業情報収集方法】キャリアスUCエントリー、マイナビ活用方法説明 【演習】キャリアスUCエントリー、マイナビエントリーと活用
3	就職活動スケジュールの理解就職活 動計画作成	【就職活動スケジュール説明】就職に必要な書類、スキル、準備物 【演習】就職活動スケジュール作成（シート記入）就職に必要な書類、スキル、 準備物チェックシート記入
4	自己紹介ができる	【自己理解】自分の長所、短所、内的・外的キャリアを考える方法 【演習】自己紹介文作成と発表
5	他人の紹介ができる	【他者理解～自己理解】他者の長所を見出し、自己理解、自己PR書作成に活用 【演習】自己紹介文の修正と発表
6	自己PR書が書ける	【自己PR書とは】自己紹介、他者から見た自分の長所から自己PR書に落とし込む 【演習】自己PR書作成200字～400字程度、提出
7	雇用状況、企業について理解する	【企業を選ぶ視点】企業を選ぶ6つの視点を知り、志望する企業を選択 【演習】企業研究 進路手帳ワークブック利用
8	仕事（職種）について理解を深める	【仕事理解】どんな仕事があるか？どんな仕事に興味があるか？どんな会社か？ 【演習】興味がる仕事、会社の研究シート作成（進路手帳）
9	面接の基本知識を理解する	【面接に行くためには】準備とマナー、ポイントについて 【演習】面接に向けた行動計画と準備、行動計画表作成（進路手帳）
10	面接の受け方、マナーを理解する (1)	【面接について】基本スキルの確認、集団面接、個別面接、グループディスカッション【演 習】面接演習 スーツ着用学生同士
11	面接の受け方、マナーを理解する (2)	【面接】悪い面接マナー説明、服装、挨拶、言葉遣い、姿勢 【演習】面接演習 スーツ着用学生同士
12	面接のテクニックの習得	【面接】良い面接マナーと悪い面接マナー復習 評価項目について 【演習】面接演習 スーツ着用 学生同士で評価並びに講評する
13	インターンシップについて理解する	【インターンシップ】企業選定、企業への応募、連絡方法について 【演習】インターンシップ計画表作成（進路手帳）
14	まとめと対策	【テスト】記述式 【演習】挨拶状作成（進路手帳）
15	フィードバック	テストの振り返り・フィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『就職内定基本テキスト』（日本能率協会マネジメントセンター）
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	担当教員はキャリアコンサルタントとしての実務経験を活かし、就職内定へ向けての実践的なカリ キュラム運営を行う